

## 医療の質と経済性に関する実態調査

### ○研究の目的と意義

本研究は、医療の質と経済性の評価・向上活動により公衆衛生の向上に資することをめざします。診療情報や財務情報に関するデータベースを構築して、医療機関における医療活動・機能や質・経済性を反映する指標を測定し関連要因の解析を行い、疾患別・地域別に医療の質と経済性について実態を把握することを目的としています。

### ○研究機関名：

京都大学大学院医学研究科医療経済学分野  
(研究実施責任者：同分野 教授 今中雄一)

### ○研究方法と情報保護

厚生労働省DPC導入の影響評価に係る調査フォーマットに基づいて匿名化された、個人情報を含まない入院および外来診療に関するデータ(DPCデータ)を参加医療機関より収集して客観的に分析します。DPCデータは厚生労働省により規定された項目からなり、生年月日・性別、病名、手術・処置・薬剤等の種類、外来受診回数、入院期間、医療費などの項目が、匿名化されて作成されています。医療の質、効率性、公正性、活動量等について数量的に見える化し、医療機関や地域の情報との関連要因等の解析を行い、診療、組織運営、地域医療、医療制度の質と経済性の一層の向上に役立ててもらうことをめざしています。それら当研究は、京都大学医の倫理委員会の審査を経て承認を得て行われています。データは暗号化通信による電子的送付あるいは追跡可能な宅配等により、京都大学へ提供されます。また当研究は国際的な第三者認証を受けた情報セキュリティ保護システムのもとで大切に取扱います。個人を特定する情報は扱っておりませんし漏えいすることはございません。研究成果は、学会・研究会発表、研究報告、論文にて公表します。

### ○研究実施体制：

DPCデータ提供医療機関は、ホームページで公開しています  
[http://med-econ.umin.ac.jp/QIP/sanka\\_byouin.html](http://med-econ.umin.ac.jp/QIP/sanka_byouin.html)

### 共同研究者

教師・研究員・大学院生・研究生

(<http://med-econ.umin.ac.jp/member.html>)

神戸大学大学院医学研究科 准教授 小林大介

京都府立医科大学 医療情報部長 猪飼宏

東京医科歯科大学・教授 伏見清秀

同志社大学理工学部・教授 津田博史

関西医科大学附属病院麻酔科・准教授 梅垣岳志

### ○お問い合わせの窓口：

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野 (電話 075-753-4454)

京都大学 大学院医学研究科 総務企画課 研究推進掛 (電話 075-753-9301)